

令和5年度学生インターン事業 課題解決型ワークショップ参加団体課題一覧

※具体的なスケジュールは観光協会と協議・調整しながら実施していただきます。

課題番号	団体名	団体概要	団体一言PR	地域における観光課題や観光協会が抱える課題	ワークショップに期待すること・提供できる資料	その他
A-①	一般社団法人 昭島観光まちづくり協会	当会は、昭島の良さをより多くの方々に知っていただくための活動を行うことにより、この地域が更に元気で活力ある「まち」となることを目指しています。市や商工会を始め、市内の各団体・企業と連携し、合同の事業も行っています。 HP https://akishima-kanko.org/	事務局は少人数で運営しているため、企画から決定まで、常に迅速に事業を実施しています。 予算の問題もあり、費用的に大がかりなものは実施できませんが、マンパワーと企画内容の良さで実現できるものは、積極的に取り組んでいます。	就活生(又は昭島に住むことを選択肢の一つに入れている人)専用企業訪問町あるき ・当会が行っている「あきしま町あるき」の一環である企業訪問の一部を就活生専用のものにする。 ・企業訪問に加え、現在の昭島の住環境と、これからの昭島のまちづくりの方向性まで分かりやすく説明し、就活生に仕事だけでなく就職後の昭島での生活についての想像までさせることを目指す。	○以下の資料の提供が可能 当会では、毎月町あるきを開催しており、2022年度末で第95回まで開催しています。当会HPの町あるきの活動報告で第79回以降の記録が閲覧できます。それ以前の活動報告はデータがあるので提供いたします。	対応しやすい時期: 7~10月、12月~1月
A-②		主な事業 ①あきしま町あるきの開催(月1回) ②観光案内所の運営 ③昭島ロケーションサービスによるロケの誘致 ④写真募集イベントの開催 ⑤ワークショップの開催(年数回) ⑥あきしま郷土芸能まつり(毎年5月)の主管		会費収入につながる認知度アップ 一般社団法人の公益的な収入の一つとして会員からの会費収入があり、特に法人会員の増強に取り組んでいるが、なかなか成果が上がらず伸び悩んでいる。当会の魅力アップ、会員特典の拡充や会員になることのメリットのアピールなどを行い、当会の活動を周知宣伝し、認知度を高めたい。		
B-③	一般社団法人 こだいら観光まちづくり協会	こだいら観光まちづくり協会は、小平市の観光まちづくりを推進するために平成28年6月28日に設立された地域・民間主体の組織です。小平市が平成26年3月に策定した、小平市の観光まちづくり10カ年計画「小平市 観光まちづくり振興プラン」を推進するとともに、「観光まちづくり」をキーワードに幅広く小平市の地域活性化に尽力していきます。地域内外の人の交流が活発になり、地域の産業(農業・商工業)に刺激となり、市民が地域に誇りや愛着を持ち「住み続けたい」と思えるようなまちづくり。さらには、新たに「小平市に住んでみたい」と考える人が増えるまちづくりを目指しています。	市民が快適に生活でき、住んでいるまちに愛着や誇りを持ち、市外からの来訪者にも感動してもらえる「小平が好き」という人が増えるような魅力ある観光まちづくりを目指しています。『訪れたい、住みつけたい』観光まちづくりを目指しています。	にぎわいの場づくり 市内の多様な担い手や地域資源が終結するプラットフォームを構築し、小平グリーンロードの緑豊かな環境や空間を活かして、人やモノ、活動、文化が小平グリーンロードに集まり、にぎわいと交流を育むイベント等を企画し実施していくことが課題である。マルシェ、ランニング、ウォーキングイベント、キャンプイベント等、大学生たちのアイデアを生かして企画を募りたい。	左記、課題は「令和3年度 マーケティングを活用した『都会から一番近いプリ田舎』戦略の策定～小平グリーンロード 癒しと体験の旅 推進プロジェクト」において抽出された課題です。今後、これらの課題に対して、大学生へのフィールドワークやワークショップの機会を提供し、課題の理解・把握から、企画・提案づくりまでサポートしていきます。Z世代の完成を生かしたその成果を事業計画にいかしたいと思えます。	
B-④		ふらっとNAVI ～こだいらに来ないか https://kodaira-tourism.com/		地域資源を活用した体験プログラム 地域資源を掘り起こし、それらを保全・活用した体験プログラムや集客コンテンツの開発、仕組みづくりが課題である。市内にある地域資源の魅力を知ってもらい、楽しんでもらうための体験型アクティビティプログラム(商品)の開発・事業課に向けて、大学生のアイデアや感想等を生かしたい。例)若者が楽しめる農業体験プログラムや小平ショートトリップ等		
B-⑤		主な事業: まち巡り、オープンガーデン、丸ポスト、ブルーベリー栽培発祥地等 職員:6名		名物づくり・グルメ開発 来訪者の周遊・滞在と消費活動促進のためには、小平らしい名物やグルメ商品の開発が必要である。現状ではこれらが不足しているために、消費に結びついていない。名物づくり・グルメ商品の開発により、市内飲食店や小売業での集客・消費増を目指すことが課題である。大学生の視点からのアイデアを生かし、名物づくり・グルメ開発に取り組みたい。		

課題番号	団体名	団体概要	団体一言PR	地域における観光課題や観光協会が抱える課題	ワークショップに期待すること・提供できる資料	その他
C-⑥	公益社団法人 八王子観光 コンベンション協会	所在地 〒192-0083 八王子市旭町1-1セレオ八王子北館9F 設立目的協会は、八王子市及び周辺地域と連携し、当市の緑豊かな自然、歴史・文化、学術や産業など多様な地域資源を育成・活用して、参加体験型の魅力ある観光事業と交流人口の創出に資するコンベンション事業の振興を図るものとする。これにより、地域の産業と経済を活性化させるとともに、文化の交流促進と公共の福祉増進に寄与することを目的とする。	初めての取組なので不慣れな点も多いかとおもいますが、お互いにとって有意義な機会になればとおもいます。よろしくお願いたします。	新規来訪者の獲得 マーケティングを活用した事業計画策定支援事業で行ったマーケティング調査で明らかになった高尾山の来訪者の属性は50代が5割を超え、10～20代の若年層の割合が1～2割と低い。また、多摩地域等の近隣から訪れるリピーターが占める割合も高いため、新規来訪者の獲得が課題といえる。若年層の来訪を増やすためには、どのような事業展開が有効か検討してほしい。 ※現状：冬期の10代20代の割合10.5% → 目標：12%	○以下の資料の提供が可能 ・マーケティングを活用した事業計画策定支援事業で策定した持続可能な高尾観光まちづくり事業計画 ・地域のヒアリングや調整等については、協会でサポート可能	8月中旬以降を希望
C-⑦				日本遺産認定及び構成文化財の認知度向上 八王子市は、都内で唯一の日本遺産に認定されているが、構成文化財についての認知度はとても低い。高尾山を訪れる観光客に対して、日本遺産認定及び構成文化財及びストーリーの持つ魅力を活かし認知度向上にむけた企画を検討してほしい。		
C-⑧				地域ブランディング活動・土産品の磨きあげ 来訪者の消費単価の向上を図るため、高尾山とろろそばの地域ブランディング活動の強化や土産品の磨きあげが重要となっている。外部の来訪者(若年層)目線で高尾山商店会加盟店舗(約50店舗)のそれぞれのアピールポイントを明らかにし、来訪者のお店・お土産選びに参考になる情報発信を検討してほしい。		